

1923
5-7A

食費は週1000円 風呂1回

なんでも電話相談会 深刻な実態相次ぐ

なんでも電話相談会

(同実行委員会主催)が22

日、取り組まれ、全国で深刻な実態や相談が相次ぎ、弁護士や労働組合役員、福祉関係者らが相談にこたえ

ました。

東京・全労連会館では、

6人の相談員が電話を受け、「生活保護を受け、食費は週1000円、お風呂

も週1回にしているが、高

くなった電気代を払えなくな

った。どうすればいいの

か(高齢女性)、「80代の両親の介護をしている。自分

には障害があり長時間働け

ず、物価がどんどん上がり暮らしていけるか不安(女性)などの電話がよせ

られました。

「年金10万円、パートで

5万〜6万円の収入。家賃は7万円。安い所へ引っ越

したいが、引っ越し代もな

い」と相談を寄せた78歳の

男性に、相談員は、生活保護の申請の仕方を説明しま

した。

「70代で預金200万

円、年金10万60000円。

預金を崩しながら生活して

いて、年金は下げられ物価

高騰が続き不安」の相談

も。

相談にあたった仲野智非

正規センター事務局長は、

午前中から電話が鳴りや

まず、相談内容も物価高で

生活不安が高まっていると指摘。「一定の預貯金を心の支えにしているのに、

預貯金を取り崩さなければ生活保護を受けられな

い」として、生活保護の改

善や現金給付の継続などを求めていくと述べました。

「コロナ災害を乗り越える
いのちとくらしを守る